

“いのちの館” 秋晴れのオープン

「いのちの館」深澤晟雄資料館は、10月19日午前10時から行われた開館式でオープンしました。開館式のテープカットは、高橋町長、遠藤県南広域振興局北上支局長、佐々木町議会議長、遺族代表の深澤佳道さん（深澤晟雄さんの孫）、深澤晟雄の会太田理事長の5人によって行われました。



テープカットを行う左から深澤佳道遺族代表、佐々木町議会議長、遠藤振興局北上支局長、高橋町長、太田理事長の各氏。

太田理事長は、「多くの方々の協力でたくさん資料が集まり、ここに開館の運びとなった。生命軽視の風潮にさらされる昨今、この資料館から深澤精神を発信して行きたい」とあいさつ。来賓の高橋町長、遠藤振興局北上支局長、久保県議会議員の祝辞があり、最後にコーラスリリシ

ンと西和賀高校生による合唱で、深澤晟雄を讃える歌」が披露されました。開館式当日は、まれにみる秋晴れとなり、集まった150人ほどの町内外の来館者から、深澤村長の天国まで透き通る青空」という声も聞かれました。開館記念行事はこのあと、沢内バーデンに会場を移して元沢内病院長（現仙

10月の入館者 12日間で八百人超す

10月19日のオープンから31日まで休館日を除く12日間の入館者は848人で、一日平均70人となりました。入館者が1000人を超えた日が3日間もあり、関係者は予想以上の反響に戸惑いながらもその対応に追われました。入館者の殆んどは町外で、遠くは首都圏など県外からの来館も少なくありません。そこで、当分の間、町内の宿泊施設や観光関連業者等からの紹介があ

ボランティアを募集

資料館ではボランティアの管理人とガイドを募集しています。管理人は資料館で入館者の受付や施設の維持管理で、ガイドは深澤村長の業績や生命行政を解説してくれる方です。詳しくは資料館・電話8513838へ。

台徳洲会病院医師)の加藤邦夫先生が「生命村長・深澤晟雄さんを偲んで」と題して記念講演、100人ほどの聴衆に深い感銘を与えました。その後の祝賀会でも深澤村長を偲び開館を祝いました。なお、事務局の手違いで会員及び賛助会員へ的一部に案内漏れや当日の受付でも失礼のあったことをお詫び申し上げます。

開館 おめでとう!

～ 感想ノートから～



当時を語る写真パネルに見入る入館者

深澤晟雄資料館では、深澤村長の執務机に感想ノートを置いて、入館者が村長の机で資料館の感想や生命行政への思いを自由に書けるようにしています。深澤村長の心が沁みこむ机だけに、また格別の感慨を持って、ペンを取られるようです。その感想ノートからいくつかをご紹介します。(敬称略)

世界へ発信しよう!

オープンおめでとうござ
います。この机で書けるこ
との意味はとてつもなく大
きい!。

(深澤村長が)亡くなっ
て沢内に帰って来た日のか
すかな記憶をたどりながら
次の世代、あまねく世界への

発信を皆さんと共に努力し
ていきたいと思っています。

(県議会議員・久保孝喜)

本物の政治家に感動

晴れ上がった秋日和。素晴
らしい偉業を讀めるように天
までうれしそうだ。オープン
と聞いてわざわざ来た。心か
ら感動した。人間を愛してや
まない本物の政治家。涙が流
れてやまなかった。

またあとで、ゆっくり、て
いねいに見に参ります。

(山田町・東海林和彦)

感激いっぱいの開館

資料館開館を新聞・テレビ
で知って心待ちにして今日来
館しました。感激でいっぱい
です。深澤さんのような方
が今日の政界に一人でもい
たらと...残念です。とても

上映会のご案内

「いのちの作法」11月中旬から12月上旬の一般
対象の上映会です。11月から劇場ロードショーも
始まります。上映時間は劇場で「確認下さい」。

▼11月15日12時30分/花巻市文化会館大ホー
ル▼11月22日/12月5日/川崎市アートセン
ターアルテリオ映像館▼11月22日/12月5日
/横浜市・ジャック&ベティ▼11月24日11時、14
時30分/大分県国東市・くにさき総合文化センタ
▼11月29日/12月12日/東京都中野区・ポレ
ポレ東中野▼11月30日13時30分/滝沢ふるさ
と交流館▼11月30日14時/塩釜市・ふれあい工
スプ塩釜▼11月30日19時/大分市・コッパルホ
ール▼12月7日/13日/埼玉県深谷市・深谷シ
ネマチネ・フエリーチエ

いい感じの資料館でうれし
いです。また来ます。

(一関市・中澤賢二郎)

40年前をなつかしく

尊敬申し上げる深澤村長
さんとの思い出は尽きませ
ん。いかに偉かったかを思
い出しています。40年余り
前に語り合い、インフルエ
ンザやはしかワクチンを接
種したことをなつかしく思
っています。

(岩手医科大学

名誉教授・川名林治)

町民が誇れる政治家

昨今、人間軽視の世界的
風潮の中で、生命の尊厳の
ために頑張った政治家がこ
の地にいたことを、町民は
誇りにしてよいと思います。
10数年前、盛岡で村長さん
の劇(燃える雪)を観た時の
衝撃は忘れられません。資料
館が人間尊重の礎となるこ
とをお祈りしています。

(盛岡市・小菅久義)

(深澤語録を訪ねては

休みます)